

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-839-2636
	基本事業	国際的な発信力を持つイベントの推進		事業実施主体	その他
	事務事業	瀬戸内国際芸術祭推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けた瀬戸内国際芸術祭を、県、関係市町及び福武財団等とともに、3年毎に開催する。次回開催に向けた準備を行うとともに、芸術祭終了後、恒久的に残す作品について、維持管理及び運営を行う。
-------	--

30年度概要	瀬戸内国際芸術祭実行委員会開催準備負担金ほか 芸術祭関連事業 非常勤嘱託職員雇用 人材派遣 アトリソース活用事業負担金
--------	---

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型
--------	------	----------	----	---------

【事業の目的】

対象(何を)	高松市民及び来場者
意図(どのような状態にしたいか)	文化芸術の振興により、本市の魅力を国内外に向けて発信するとともに、交流人口を増加させ地域の活性化につなげる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
瀬戸内国際芸術祭開催日数	日		96	0	0	

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	本市会場への年間来場者数	人	目標値		170,000			
			実績値		231,167			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 次回は平成31年度開催のため、29年度実績はない。 (目標達成度)							(達成度)
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	次回瀬戸内国際芸術祭の開催準備進捗率	%	目標値		100	30	100	
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成29年度中に実行委員会が実施計画を取りまとめ、瀬戸内国際芸術祭2019の準備は計画的に進んでいる。 (目標達成度)							(達成度)
								100.0%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	66,213	105,966	14,577	87,250
(事業費)	[円]	57,001	81,157	5,473	78,146
(職員人件費)	[円]	9,212	24,809	9,104	9,104

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

平成29年度中に実行委員会が瀬戸内国際芸術祭2019の実施計画を取りまとめたほか、ART SETOUCHIとして継続作品の公開等を実施した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き、芸術祭開催年度の谷間における継続作品の公開等を行うとともに、実行委員会や市内各島の関係者と連携しながら瀬戸内国際芸術祭2019の開催に向けた準備を行う。併せて、他の事業についても、芸術祭の開催効果を最大限に高める視点で工夫を加える。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	2636
	基本事業	国際的な発信力を持つイベントの推進		事業実施主体	その他
	事務事業	高松国際ピアノコンクール事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要
 高松から世界レベルの音楽を発信するとともに、地域の活性化、音楽芸術の振興、国際的な文化交流の推進などを目的として、高松国際ピアノコンクール、仙台国際音楽コンクールに次ぎ、白本で3番目に創設された国際的なピアノコンクールで、4年に一度開催されている。また、平成27年度には国際音楽コンクール世界連盟に加盟するなど国内外からより一層注目を集めるコンクールとなっている。また、平成29年度には国際音楽コンクール世界連盟に加盟するなど国内外からより一層注目を集めるコンクールが開催されない年度においても、当コンクールの審査員・入賞者のリサイタル事業や公開レッスン、地域での無料演奏会などの事業を展開し、次回開催への機運を高めるとともに、より市民に親しまれ、地域に育まれていくコンクールとなるよう推進する。

30年度概要
 高松国際ピアノコンクール推進事業負担
 学校訪問リサイタル
 ピアノコンクール出場者セミファイナリストリサイタル
 優勝者とファイナリスト等の演奏会等
 審査員によるマスタークラス

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	音楽芸術の振興と国際的な文化交流に取り組むことにより、交流人口を増加させるとともに、文化芸術都市高松の魅力の世界に向けて発信し、音楽を愛する心と都市ブランドの向上によるシビックプライドを醸成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
高松国際ピアノコンクール開催日数	日		0	12	0	19

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		ピアノコンクール入場者数	人	目標値		0	8,000	0
			実績値		0	10,230		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 127.9%
	平成29年度に第4回コンクールを開催し、入場者数は目標を上回った。	(目標達成度)						35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	5,103	5,155	28,076	5,076
（事業費）	[円]	2,800	2,800	25,800	2,800
（職員人件費）	[円]	2,303	2,355	2,276	2,276

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成 29 年度は、国際音楽コンクール世界連盟加入後初めてとなる第 4 回を開催し、応募者・来場者とも前回から増加した。また、推進事業の継続実施及び第 4 回コンクールイベントにも取り組み、コンクール開催期間以外における関連イベントの充実を図った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成 3 3 年度に開催予定の第 5 回に向けて、コンクールへの市民の関心を引き続き高めつつ、高松から世界レベルの音楽を発信するとともに一層の地域の活性化、音楽芸術の振興、国際的な文化交流の推進を目指す。